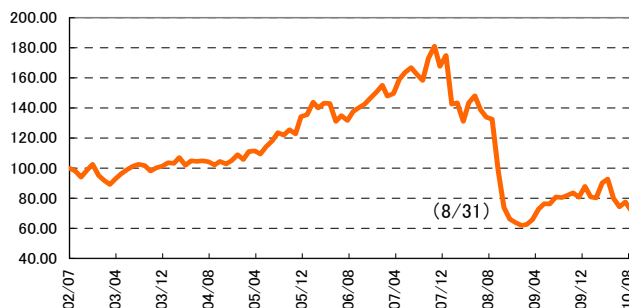


2010年8月末

# グローバル株式型

主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。原則として、為替ヘッジは行いません。  
 MSCI WORLDインデックス(注)を上回る投資成果を目指します。  
 (注) MSCI WORLDインデックスとは、MSCI Inc.が提供する指数で、日本を含む主要各国の株式を包括的に表した指数です。

## ユニット・プライスの推移



ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として数値化したものです。

## ユニット・プライスの収益率

収益率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
グローバル株式型	▲7.19%	▲10.32%	▲10.55%	▲10.70%	▲54.64%	▲41.05%	▲28.22%
グローバル株式型 ※保険関係費用 控除前	▲7.06%	▲9.91%	▲9.74%	▲9.10%	▲49.83%	▲33.05%	▲15.27%

## 特別勘定資産内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
現金・その他	21	0.2
預金		
投資信託	9,290	99.8
合計	9,312	100.0

# グローバル成長株ファンド

【参考】主な投資対象の投資信託の運用状況(出所:日興アセットマネジメント株式会社)

### <基準価額の騰落率>

	1ヶ月	3ヶ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
グローバル成長株ファンド	▲7.09%	▲10.00%	▲9.87%	▲9.31%	▲52.63%	▲20.96%
MSCI ワールドインデックス	▲6.32%	▲7.11%	▲8.84%	▲9.69%	▲48.75%	▲17.40%

\*当ファンドの設定日は2001年10月2日です。

### <株式組入上位5ヵ国>

1	アメリカ	48.3%
2	イギリス	10.8%
3	香港	5.4%
4	ドイツ	5.0%
5	日本	4.4%

### <株式組入上位10銘柄(銘柄数78)>

	銘柄	通貨	業種	比率
1	APPLE INC	アメリカドル	コンピューター	3.0%
2	ORACLE CORP	アメリカドル	ソフトウェア	2.6%
3	CISCO SYSTEMS INC	アメリカドル	通信	2.0%
4	DAIMLER AG-REG	ユーロ	自動車 製造	1.9%
5	EMC CORP	アメリカドル	コンピューター	1.9%
6	STANDARD CHARTERED PLC	イギリスポンド	銀行	1.8%
7	INGERSOLL-RAND PLC	アメリカドル	その他製造	1.6%
8	HEINEKEN NV	ユーロ	飲料	1.6%
9	LOWE'S COS INC	アメリカドル	小売り	1.6%
10	UBS AG-REGISTERED	スイスフラン	銀行	1.6%

### <資産構成比>

1	国内株式(先物含む)	4.4%
2	外国株式(先物含む)	91.9%
3	CB	0.0%
4	公社債	0.0%
5	現金その他	3.7%

## <運用コメント>

米国市場は、欧州銀行大手の堅調な決算内容などを受け、上昇して始まりました。しかし中旬に入ると、中国および米国での軟調な貿易統計の発表や米国連邦準備制度理事会(FRB)の景気認識の下方修正などが重なり、景気減速への懸念が強まるなか、急落しました。下旬においても、企業のM&A(合併・買収)の活発化が相場の一時的な支援材料となったものの、住宅関連指標の悪化などが嫌気され、下落幅を拡大しました。欧州市場では、上旬は主要企業の好決算が相次いだことを受け、上昇基調で推移しました。しかし中旬以降、中国の輸入鈍化やFRBの景気見通しの下方修正などが悪材料となって急落し、下旬に入っても、アイルランドの財政不安などが投資家心理を圧迫し、一段と水準を切り下げました。このようななか、ボトムアップによる銘柄選択に基づき、電気通信サービスセクターの銘柄などを積み増した一方、一般消費財・サービスセクターの銘柄などを一部売却しました。電気通信サービスセクターでは、中南米で携帯電話事業を展開する会社を新たに組み入れました。同社は、主要市場における圧倒的なシェア、広域にわたる地理的分散、安定したキャッシュフロー創出に強みがあり、バリエーションも魅力的です。また、データ通信の増加により加入者当たり平均売上げの上昇が続いています。一般消費財・サービスセクターでは、厳しい経済環境下で裁量的な消費支出が目先減退するとの予想から、中価格帯デパートを全株売却しました。8月末現在、ベンチマーク対比でオーバーウェイトとしているセクターは情報技術、一般消費財・サービス、資本財・サービス、対してアンダーウェイトとしているのは金融、生活必需品、ヘルスケアです。今後も銘柄選定ならびにセクター選定を重視し、世界のリーディング・カンパニーの経営陣との面談を続け、社内のリサーチ資源を幅広く活用し、徹底的なボトムアップ調査を行なっていきます。世界的な競争力を有し、地域市場におけるリーダー格の、質の高い成長型企業を選別し、投資を行います。

当資料に関する「ご注意いただきたい事項—大切なことがら」を5/5ページに掲載していますので必ずご参照ください。

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。